

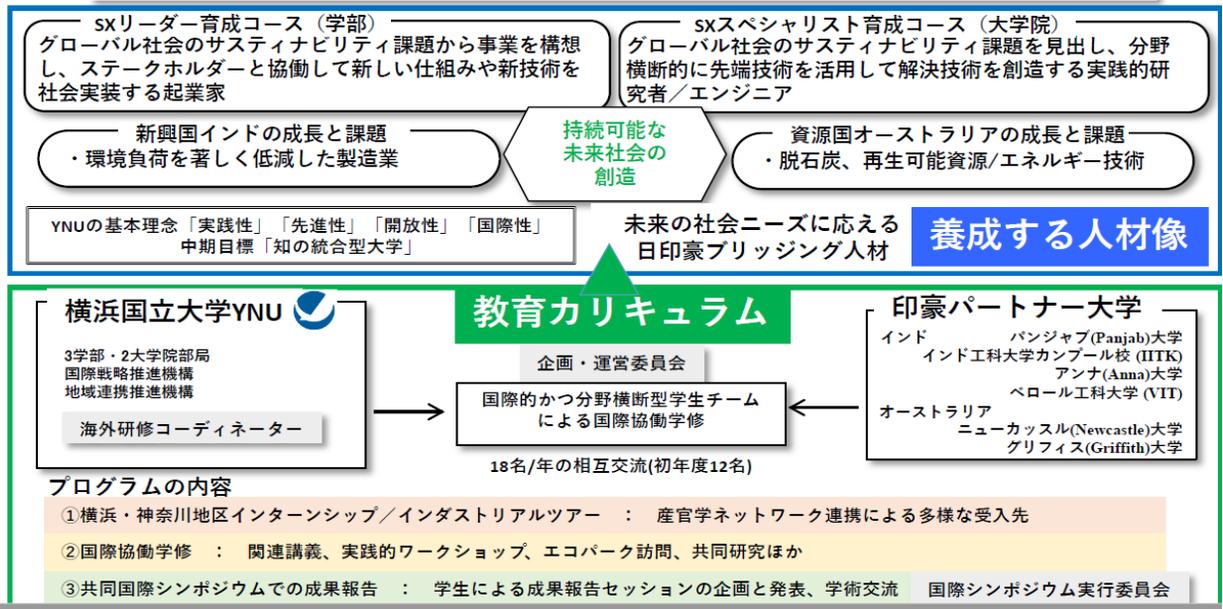
大学の世界展開力強化事業(2022年度選定) 横浜国立大学 取組概要

【事業の名称】(選定年度2022年度)

レジリエントな社会への変革をリードする産官学連携ヨコハマ国際教育プログラム(YOKOHAMA-SXIP)

【交流推進事業の概要】

レジリエントな社会への変革をリードする産官学連携ヨコハマ国際教育プログラム
 <横浜の地域力を活用した実践グローバル教育による日印豪ブリッジング人材の育成>



【交流プログラムの概要】

インドの有力大学(Anna University, IIT-Kanpur, Panjab University, Vellore Institute of Technology)およびオーストラリアの有力大学(Griffith University, The University of Newcastle)と共同で、国際的かつ分野横断型の学生チームを結成し、①横浜・神奈川地区インターンシップ/インダストリアルツアー、②国際協働学修、③共同国際シンポジウム(+成果報告会)からなる双方向交流教育プログラムを構築し、レジリエントな社会への変革をリードし、持続可能な未来社会を創造するSX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)人材を育成します。

【本事業で養成する人材像】

- ・グローバル社会のサステナビリティ課題から事業を構想し、ステークホルダーと協働して新しい仕組みや新技術を社会実装する起業家(学部)
- ・グローバル社会のサステナビリティ課題を見出し、分野横断的に先端技術を活用して解決技術を創造する実践的研究者/エンジニア(大学院)

【本事業の特徴】

- ・先端産業の集積地である神奈川・横浜地区の地域力を活用したインターンシップ/インダストリアルツアーにより、現代産業構造とサステナビリティ課題の理解を深め、さらにアントレプレナーシップを醸成します。
- ・国際シンポジウムにより、世界水準の研究活動の推進、サステナビリティ課題の議論、プログラム学生の活動報告・討論の場を提供します。
- ・国際的かつ分野横断型の多様性のある少人数チームによる国際協働学修により、2050年のグローバル社会でコアとなり活躍する実践的なグローバル人材を育成します。

【交流予定人数】

		2022	2023	2024	2025	2026
派遣	実際に渡航する学生	12	18	0	0	0
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	0	0	0	0	0
	実渡航とオンライン受講を行う学生	0	0	18	18	18
受入	実際に渡航する学生	12	18	0	0	0
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	0	0	0	0	0
	実渡航とオンライン受講を行う学生	0	0	18	18	18